

# 平成25年6月市議会定例会より

## 工藤市長の一般行政報告

6月12日から10日間の会期で開催された市議会定例会では、工藤市長の「一般行政報告」のほか6月補正予算の審議などが行われました。

※一般行政報告は、全文を一部要約して掲載しています。



市では、10月末までの期間、軽装(ノーネクタイ)を実施しています。

### 東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理

昨年3月の定例市議会の一般質問におきまして「市民の皆さんの安心・安全が確保されること」を前提に、北海道の呼びかけに協力したい旨の答弁をして、今日に至っています。放射能汚染の問題と同一視されて議論されたこともあり、市の内外から多くのご意見をいただいたことは、これまでもご説明してきました。

本市としては、北海道が受け入れ先とした「岩手県」のガレキについて具体的な情報収集や被災地の視察を行うなど、受け入れについての検討を進めてきました。

この間、何度か環境省から処理工程表が公表され、その経過の中で、ガレキの量も当初と大きく変わり、昨年8月以降は、岩手県の漁具・漁網の処理に絞って検討してきたところです。

そうした中、環境省は先月7日、本年3月末現在の「災害廃棄物処理の進捗状況」と「新たな処理工程表」を公表し、岩手と宮城の両県では、県内処理の拡大や、近隣県での追加受け入れの決定などにより、来年3月までに、漁具・漁網を含む全ての処理が可能になったことが明らかにされたところです。

この公表後、先月13日には、環境省北海道地方環境事務所長と北海道環境生活部環境局長が本市を訪れ、改めて説明を受けましたが、今後、国から北海道

に対する受け入れ要請は無いと判断しているとお話がありました。

こうした状況から、本市において、東日本大震災で発生したガレキなどの受け入れについては、その可能性は今後も生じないかと判断し、検討を終了するものとしました。

震災発生後2年3か月が経ちましたが、改めて市民の皆さんと一緒に、被災地の復旧、復興が一層加速されることを心からお祈り申し上げます。

### 名古屋空港からのチャーター便就航

去る5月9日、愛知県庁にて、名古屋空港から稚内空港への

チャーター便の就航にかかる記者会見が行われ、私と稚内商工会議所中田会頭が同席しました。

この運航会社は、静岡県静岡市に本社を置く「フジドリームエアラインズ、通称FDA」で、7月12日から8月22日までの期間、19往復の運航を行い、1,300人強を送客する計画となっています。

今年度は、夏期間における関西便、中部便の就航が休止となりましたが、今回のチャーター便就航により、中部圏からの大切な誘客ルートが維持できたことは、喜ばしいことと考えています。

私もFDA本社や各旅行会社を訪問し、一人でも多くの皆さんにお越しいただけるよう、この地域の持つ魅力を強くアピールしてきました。

この度のチャーター便の就航実現に際しては、北海道から事前の情報提供など様々なご協力をいただき、深く感謝しています。

今後は、このチャーター便が、来年以降も引き続き就航していただけるよう、運航会社に働きかけ、休止された季節便の再開や、今回のチャーター便の定期化も視野に入れながら、関係者とも連携を図り、稚内空港利用の一層の拡大に努めます。

### 開業医の誘致

これまでも勤務医の拡充あるいは開業医誘致に懸命に取り組んできたところですが、今年度からの市立稚内病院の内科医1名減や、市内開業医の病気療養による長期休業という、さらに医療環境の厳しい現状のなか、このたび新たに今年10月下旬を目途に、中央地区に内科の診療所が開業する運びとなりました。

開業される医師は、佐賀県出身の藤川省三さん64歳で、現在は、長野県で「はーぶの里診療所」という内科診療所を開院されています。

本市で開業する経緯は、ご本人が、本市のホームページを見て、開業医誘致制度を知ったことがきっかけで、問い合わせ後、

市としても藤川さんへの積極的な情報提供と協力をしてきました。

また、ご本人も何度か本市を訪れ、市をはじめ、地元医師会等ともお話をされるなど、稚内で開業するための環境整備に努め、それらに目途が立ち、今回の物件取得に至っています。

今後は、取得された物件の改修工事を行い、開設届出書の提出や看護師をはじめとするスタッフの確保など、諸準備を進める予定と伺っています。

本市としては、今月末頃までに提出される「助成申請書」を受けて、「開業医誘致助成審査委員会」を開催する予定です。

藤川さんは、開院後、外来診療はもちろん、訪問診療にも意欲をお持ちで、わがまちの医療環境の充実・発展に貢献いただけるものと期待しています。

### 「わっかない海の駅」の登録

かねてから登録に向けて準備を進めていました「わっかない海の駅」が、3月13日に開催された「北海道海の駅・マリノード設置推進会議」において承認され、北海道で6番目の海の駅として登録されました。

登録の要件としては、来訪者



FDAの飛行機は、機体の色がそれぞれ違います！